



発行所

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘3-1-30

日本社会事業大学  
同窓会

電話 042-496-3053

振替口座 00100-9-42448

ホームページ・アドレス

<http://www.harajukukai.jp/>

卒業後もずっと社大の一員として日本社会事業大学では、卒業生の方々と充実したネットワークを築いています。本学同窓会は、戦前の社会事業研究生、日本社会事業学校研究科・専修科・専門学校、短期大学、学部卒の卒業生、そして大学院の修了生の全員で組織されており、同窓会や大学の歩み、会員の活動などの情報を発信しています。



<http://www.harajukukai.jp>

池田幸代さん プロフィール

1972年東京生まれ。長野県伊那谷育ち。

93年から、山谷に行き始め、翌年より新宿で野宿を余儀なくされている人たちのもとに通う。

96年から「新宿野宿者女性の会 心を開く輪」を始める。社大卒業後5年間、福祉新聞記者として児童・障がい者虐待防止、貧困、援助職の燃え尽き抑止などのテーマで記事を書く。2000年から政治の仕事に就く。田嶋陽子参議院議員、阿部知子衆議院議員の秘書を経て、07年より福島みずほ社民党党首の秘書として働く。

「政治家は究極のソーシヤルワーカー」を目指して

池田 幸代

同窓生の皆さん、こんにちは。九十年代生の池田幸代と申します。私は現在、福島みずほ社民党党首の秘書をしています。政治家や政治家秘書ってどんな仕事をしているイメージでしょうか？秘書の仕事は、スケジュール管理、集会や大会の挨拶、省庁との交渉同行、要請などの受付、支持者名簿作り、支持者の方々の会合、選挙までとにかく人間相手の体力勝負の仕事です。毎日、体力、精神力、脳をフル回転させながら働いています。ち

よつとやそつとではくたばってられない。この仕事をしてから最も厚みを増したのは面の皮かもしれない。私は十年前、二八歳の時に政治の世界に飛び込みました。社大卒業後働いていた福祉新聞記者当時の十二年前に、私のボランティア活動取材して下さった記者に声をかけられ、最初の福島選挙のパーティーの受付をしたことがきっかけでした。そこから関係者の方々とご縁を頂き、候補者をしないかという話を頂い



たのです。選挙の候補者と秘書を行き来し、ようやく今は秘書で落ち着いています。大学時代から続けたボランティアは野宿を余儀なくされている方々のサポートです。学内では「一之江セツルメント」、学外では「学生YMC A」の活動をしており、貧困解決には関心を持っていました。四年生の秋、山谷の日雇い労働者向けの食堂に皿洗いに行き始め、就職してから土日は新宿で林立していた段ボールハウスにゆで卵を片手に通いました。九六年からは女性野宿

者の語る場を一ヶ月に一度やり、現在はメンバが亡くなつたり、アパートで居宅保護を受けており、私も休みが不定期なので、家に食べものを届けたり、電

話をしたり、集まって食事会をしたりというホントにぼちぼちペースで活動しています。彼女たちの眩みや暮らしに接する中で、経済状況の厳しい女性も含めて、誰もが生まれてから死ぬまで、人の支えを得ながら安心して生きられる社会を作りたい、見捨てられる人のない社会、貧困と暴力のない社会にしたいと切実に思っています。

以前、居宅保護を受けていた女性の会のメンバーが死後発見されたことがあります。十年以上、

音信不通だった弟さんに頼まれて彼女の家の片付けに行きましたが、特に経済力のない家族は構成員を支えきれなくなっています。

今、社会全体で問題になっている貧困、家族関係の希薄さ、不安定雇用の拡大など、二十年近く前に既に山谷や新宿などでは顕在化していました。現場に行き、困難に直面している人と出会うことが最も必要だと感じています。一人の生活にがっぷり関わることから見えることがたくさんあります。私の仕事には、ソーシヤルワーカーになるべく学んだことがたくさん生かされています。

同窓生通信 1



神田 均 さん (研究科 7 期生)

【プロフィール】
静岡県福祉行政勤務後、民間福祉施設を経て現在も介護福祉士など養成の専門学校に、顧問(非常勤講師)として勤務している。その他に●静岡県ボランティア協会理事長●静岡県ソーシャルワーカー協会会長●日本社会事業大学同窓会副会長

福祉の原点は原宿時代

昭和の大恐慌翌年の昭和五年(一九三〇年)に、小作農家に生まれた私などは、生活の貧困を体験しながら育つて来た。昭和24年春、私は新制高校一期生として卒業と同時に、郷里の村役場(厚生係)に就職した。当時は田舎でも、転入して来た被災者・引揚者等の生活困窮者であふれていた。生活保護法も旧法の時代であり、現在のような福祉事務所ではなく、市町村長が民生委員と協議の上で、生活保護費を決定していた。やがて役場を三年で退職した私は上京し、日本社会事業学校研究科に学んだ。しかし東京での生活は、想像以上にさまざまいいものであつ

た。学生寮といつても二階建て倉庫に少し手を加えた程度のもので、十畳の部屋一杯に、八人の男が枕を並べる有様は、まるで飯場のタコ部屋同然のものであった。当時は外食食堂の時代で、食券が無ければコッペパンをつけただけで、副食もコロッケかポテトサラダ程度、外食とて最も安い「そば」か「うどん」であつた。栄養は慢性的に不足状態で、まさに生活保護の最低基準以下の生活であつた。しかし福祉についての勉強だけでなく、社会の様々な事象についての関心は旺盛であつた。そして昭和28年春、学校を卒業した私は、新設されたばかりの静岡県

内福祉事務所を皮切りに、県本庁や出先機関(県内全域)を回った。やがて昭和62年春、県を定年退職後も引き続き民間福祉施設から、更に福祉医療専門校に勤務しながら現在に至っている。それにしても近年の日本社会の貧困化の拡大は異常である。想えば戦後六十有余年。「福祉の道」一筋に歩んできた人間としては、現在の貧困実態に、時に「こんなはずではなかった」の思いにさせられる。しかし衣食住にも困っていたあの戦後混乱期の「原宿時代」のことを思えば、どんなに困難な時代が到来しようとも、乗り越えられるであらう。八十路に入ったわが身ながら、「生きがいある人生に定年はなし」の気持ちで、老いの胸にひとり活を入れている昨今である。

同窓生通信 2



星野 久志 さん (学部 24 期生)

【プロフィール】
●広島県出身
●小松ゼミ
●準硬式野球部
●第二松窓寮(鳥ハでアルバイト)
●社会福祉法人富士福祉会理事長(東京都町田市)
●精神保健福祉士

三月の同窓生通信で三年先輩の白戸さんの近況を読みました。北海道の諸先輩方の飲み会報告では、皆さんの学生時代のお顔を思い出し、とても懐かしく心が温かくなりました。このようならしい企画への参加に会報ご担当の木村先輩からお声かけをいただき感謝します。お誘いを頂戴できたのは六月二六日に木田賞を頂いたからです。本当に恥ずかしいことですが、私は木田賞の創設者でいらつしやる木田先生の功績や研究内容を存じておりませんでした。学館(原宿の学生会館)の木田(戸田)のおじさんがその方なのだろうかと思つたこともあり、学監(副校長?) 木田徹郎先

生が、地域で活動する私たちのような卒業生を励ますために創設して下さいと知つたのは、学内学生会長の大橋先生のお祝いのお言葉でした。この当日のことを少しだけ報告します。私は忙しくて(…)あまり学校に行けなかつたので、恥ずかしながら戸惑いつつ会場に行くこと二六期の小滝君(野球部後輩)が「お祝いに来ました」と現れ感激しました。終わつてからは懇親会です。大橋先生が会場から学生を引っ張り出して自己紹介させ、伊藤同窓会副会長を筆頭に先生方が突っ込みを入れて二の句を奪う。代理で学生の紹介を求められた佐藤先生は紹介そっちのけで自身の近況報告を始めら

れたり、昔と変わらぬ懐かしい光景でした。私は小松源助先生のご指導により今の仕事に就いています、仕事を共にした複数の知り合いから小松先生が「星野君を心配していたよ。褒めていたよ。」と何度聞いたことでしょうか。どうして、私のような者にそのように気に懸けて下さるのか。この懇親会で疑問が氷解しました。先生方はずっと学生たちを愛していらっしゃるってことなんです。さて私たち学部二四期は世話役が民生委員改選の年にクラス会を開いてくれます。とても楽しく参加したい気持ちがあつても強いです。先生方とのあの楽しい飲み会が原風景なのかもしれません。

同窓生通信 3



**渡辺 一城 さん**  
(学部 30 期生)  
(院前期 5 期生)

【プロフィール】

1966年東京都生まれ。1990年母校社会福祉学部卒業後、社会福祉法人中央共同募金会入局。その後、茨城キリスト教大学を経て、2001年4月天理大学に着任。現在、同大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻主任・准教授。奈良県在住でヨメと2人暮らし。

在学生が親戚にいたこと、人がよく知らないような大学またマンモス校ではなく小さな大学に入ってきたこと、なによりも日本社会事業大学という名称が非常にかっこいい、これが私の社大受験の動機です。

在学中の思い出は、前半は手話サークルでまりの部長や新入生歓迎実行委員会の仕事もさせてもらい、後半は実習、ゼミ、卒論と非常に慌しく過ごした四年間だったと思います。そういえば、あの古い学生会館のボックスで酔いつぶれ何度も泊まったこと、酔って同級生に失言しその後しばらく口を利いて貰えなかったこともありました。在学中に清瀬移転があり、四

年生の一年間を清瀬で過ごし移転後最初の卒業生となりました。原宿と清瀬両方を経験していることが「自慢」です。

卒業後は、中央共同募金会に入局し、共同募金運動の全国的な企画・調査研究・連絡調整の仕事に携わりました。現在は天理大学で教員を勤め今年で十年目になります。

自分の学生時代を思い

げだと思っていますし、社大の卒業生であるという誇りが私のエネルギーの源となっています。

その恩返しということではありませんが、在住する奈良県支部で、松本律子、成田正一両先輩の後を受けて若輩ながら支部長を務めさせていただいています。毎年八月最終日曜日に少人数ですが会合をさせていただいており、昨年は天理をご案内しました。メンバーは私より先輩ばかりですが、この会合が私の楽しみの一つになっています。

今年はず城遷都一三〇〇年祭が開催されています。同窓生のみならず、ぜひこの機会に奈良へお越し下さい。お待ちしております。

同窓生通信 4



**大橋 謙策 さん**  
(学部 7 期生)

■ 学長職の退任  
専任教員の退職の挨拶

二〇一〇年三月三十一日付で、母校日本社会事業大学の学長職を退任するとともに、36年間勤めした専任教員も定年規定により退職いたしました。

この間、同窓生の皆様には公私に亘り、多大のご協力とご支援を賜りまして、ありがとうございます。

小川利夫先生、鷲谷善教先生の担当講義科目、研究分野の後継者として全力で走ってきた36年間で、大学の清瀬移転整備、大学院の開設の業

務にも携わることができましたし、先輩諸氏のご支援を頂いて日本地域福祉学会やNPO法人日本地域福祉研究所を創設して、全国各地の実践者や研究者の組織化にも関わることができ、教師、研究者冥利に尽きる36年間でした。また、仲村優一先生の志を引き継ぎ、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会を二〇〇〇年に設立し、海の日をソーシャルワーカーデーとして、全国的にソーシャルワーカーの地位向上に向けた活動にも取り組んで来ました。これら

の活動には常に同窓生のご支援とご協力がありました。

日本社会事業大学は、社会福祉の単科大学であるがゆえに、まさに同窓生の実践が宝であり、その組織が宝です。本当に、日本社会事業大学を卒業して良かったと思う日々でした。

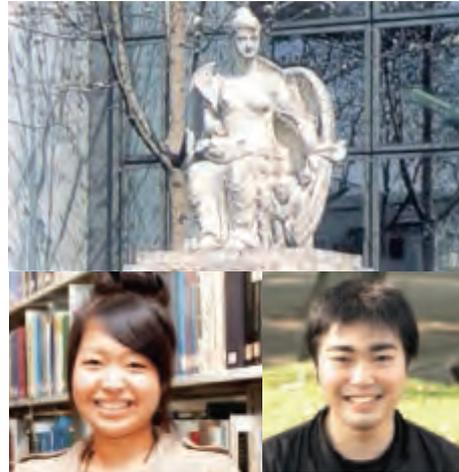
日本社会事業大学が益々発展し、日本の社会福祉人材養成・研修のナショナルセンターの役割を担えるためには同窓生の実践こそが鍵です。今後とも、母校の発展の為に同窓会にご支援、ご協力頂けますことをお願いし、かつ同窓会の益々のご発展を祈念し、この間頂いた皆様へのお礼と感謝の挨拶とさせていただきます。

なお、私はこの四月より大学院特任教授として、大学院生の指導のために原則として週二日(月曜、金曜)大学に勤めております。お気軽に声をお掛け下さい。



母校の情勢

# 日本社会事業大学ガイド



## 沿革



農村要保護世帯調査(1947年)



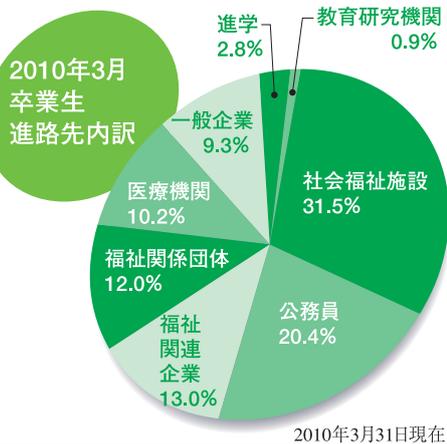
清瀬市に校舎移転(1989年)



清瀬市に校舎移転(1989年)

- 1946年(昭和21)11月 中央社会事業協会(後に日本社会事業協会)は厚生省(当時)の委託を受け、昭和21年11月9日、日本社会事業学校を創立し経営にあたる。  
東京都牛込区(現・新宿区)原町に開校
- 1947年(昭和22)3月 日本社会事業専門学校設置、本科(3年制)、研究科(1年制)をおく
- 1948年(昭和23)1月 東京都渋谷区原宿(現・神宮前)に校舎移転
- 1950年(昭和25)3月 日本社会事業短期大学設置
- 1958年(昭和33)4月 日本社会事業大学開学(社会福祉学部社会事業学科・児童福祉学科)
- 1965年(昭和40)2月 附属特殊児童相談室(いたる学園)、子どもの臨床相談室(のびろ学園)開設
- 1975年(昭和50)4月 同窓会再建、会長に五味百合子氏選任
- 1981年(昭和56)1月 附属「いたる学園」と「のびろ学園」が合併し、知的障害児通園施設「子ども学園」となる
- 1989年(平成元)4月 東京都清瀬市へ移転。児童福祉学科定員増、大学院社会福祉学研究科修士課程設置
- 1992年(平成4)4月 社会福祉学部児童福祉学科に介護福祉コース設置
- 1994年(平成6)4月 大学院社会福祉学研究科博士後期課程設置
- 1996年(平成8)4月 社会事業学科を福祉計画学科に、児童福祉学科を福祉援助学科に名称変更
- 1999年(平成11)4月 日本社会事業学校に社会福祉主事資格認定通信教育科設置
- 2000年(平成12)4月 日本社会事業学校に社会福祉士通信教育課程設置
- 2001年(平成13)4月 日本社会事業学校に精神保健福祉士通信教育課程設置
- 2004年(平成16)4月 日本社会事業大学通信教育科に名称変更  
(日本社会事業学校通信教育課程 改称)  
日本で唯一となる福祉専門職大学院「福祉マネジメント研究科(1年制・昼間)」を設置
- 2008年(平成20)11月 アジア福祉創造センター創設
- 2010年(平成22)4月 実習教育センターを実習教育研究・研修センターに改組

原宿校舎



### 知識、体験が積み重なり、学びが結実するとき

福祉援助学科4年 保健福祉コース  
東京都/私立八王子高等学校出身 吉田 文香

障害者自立支援法を中心に、地域自立支援生活について研究しています。高齢、あるいは障害や病気などの理由から施設で暮らしていた人が、地域で安心して生活を送れるためには何が必要なのかを考えてみたいと思い、このゼミを選択しました。一人ずつが自立支援法についての本の中から見つけた課題を発表し、それぞれに異なる意見を交わす時間はとても刺激的です。先生は、私たちが気づかない視点について疑問を投げかけてくださるので、毎回考えさせられることばかりです。また、卒業生を招き、現場の状況を聞かせていただき、ディスカッションしたことも貴重な経験になりました。これまでにほかの授業で学んだ知識、実習で経験したことがつながって自分なりの結論が出せた瞬間に、学が喜びを感じます。



2010 年度幹事会の主要事項

「五味基金」創設  
学生奨学金給付と支部活動支援

定例幹事会が6月26日(土)開催、事業報告・決算報告、事業計画・予算が審議された。新しく就任の理事長・鷲尾悦也、学長・高橋重宏お二人の挨拶ののち、神田均副会長を議長に選出し、すすめられた。

◇ 「五味基金」の創設 ◇◇

「五味基金」の創設とこれを会則に示す、ことが了承された。五味百合子名誉会長の遺贈金(2800万円)を基金とし、学部入試に同窓会支部推薦者の入学者1名に50万円、総額150万円を奨学金とし給付、同窓会支部が支部強化事業として実施するセミナー等開催助成を総額100万円、毎年度会計250万円を10年間、基金を活用する事業を実施する。これにかかる審査委員は、会長指名の2名・五味百合子関係団体代表1名・遺言執行者代表1名の4名で構成。



◇ 文京キャンパス福祉サロン同窓会室の活用 ◇◇

待望の「同窓会室」が誕生。同窓会館建設基金から1500万円一括寄付することとしたが、母校から会計処理の事情もあり、100万円を寄付。今後は、委託との関係から毎年度賃貸料として負担してほしい。この賃貸契約書を結びたい申し出があり、この書類にある、平成29年3月以降の負担や文京キャンパスの土・日・夜間の利用について、引きつづいて母校側と交渉する。



◇ 通信教育科生の入会 ◇◇

諸般の事情からブリッジ方式をとってきたが、母校及び支部からの強い要請もあり協議をつづけてきた。現会員と同じ条件、入会金、年会費の納入、在学中は準会員。これらのことを会則に示す。各科の面接授業時に呼びかけをしていく。

◇ 総会 ◇◇

隔年開催で本年度開催年。総務委員会で検討し、会報に告示として周知する。

◇ 監事交替 ◇◇

長い間その任に当たっていただいた上村知敏(学部2期)監事、健康上の事由で退任、後任に杉浦信剛(学部5期)埼玉県支部長が就任。

2009 年度 日本社会事業大学同窓会決算 / 2010 年度 日本社会事業大学同窓会予算

収入の部 (単位：円)

科 目	2009年度決算額	2010年度予算額
前年度繰越金	635,872	738,203
会費収入	4,739,000	5,000,000
入会金収入	831,000	837,000
利息収入	4,912	500
雑収入	163,000	1,000
合 計	6,373,784	6,576,703

支出の部

科 目	2009年度決算額	2010年度予算額
会議費	80,515	270,000
委員会活動費	85,810	170,000
人件費	600,800	600,000
支部強化費	1,098,650	1,250,000
研究推進事業費	125,700	150,000
機関紙等印刷費	839,370	1,000,000
支部出張費等	314,440	400,000
通信運搬費	1,529,870	1,600,000
システム管理費	126,000	150,000
ホームページ関係諸費	89,996	150,000
慶弔費	135,000	150,000
国際交流推進費	30,000	80,000
卒業記念品費	297,340	250,000
事務局活動費	282,090	260,000
予備費	0	96,703
合 計	5,635,581	6,576,703

【収支差引額】

6,373,784 (収入決算額) - 5,635,581 (支出決算額) = 738,203 (翌年度繰越額)

普通預金残高	265,123
郵便振替残高	428,940
現金残高	44,140
合 計	738,203

2009 年度同窓会基金会計現在高(同窓会館建設基金) (単位：円)

預金先	名 称	金額(前年度末)	金額(当年度末)
1.郵便局	定期貯金	10,035,920	10,047,120
2.労働金庫	定期預金	10,036,845	9,102,656
3.みずほ銀行	定期預金	8,895,076	8,984,826
計		28,967,841	28,134,602

特別積立現在高(会員名簿作成準備他) (単位：円)

預金先	名 称	金額(当年度末)
三井住友銀行	定期貯金	505,996

五味基金 (単位：円)

預金先	名 称	金額(当年度末)
三井住友銀行	普通貯金	28,000,000

# 社大WEB同窓会

## ルポルタージュを同窓会ホームページに掲載しました。



### ルポルタージュ

グループホームを積極展開  
高橋義孝  
(学部二五期)



**プロフィール**  
1960年 静岡県清水市生まれ  
徳文大学卒業、国立長崎大学経済学研究所研究員を経て  
社会福祉士 介護実務専門員 介護管理専攻卒業  
静岡同人社、医療法人社、介護士福祉会等の経営の傍ら、  
平成5年、社会福祉士事務所設立。高齢・老健・障害などの施設支援活動、  
有料老人ホームの運営、施設立ち上げ等行う。  
平成14年、法人格がアソシエイト設立。平成15年より6000坪の事業と静岡市で  
運営グループホーム開設。平成21年1月まで21ヶ所、387室稼働。社員数300人、  
利用者150名。今年までに有料老人ホーム合計で2ヶ所、500室稼働予定。

**メッセージ**  
皆様、こんにちは。私はその後、本文の株式会社日本ケ  
アクオリティを退任、あわせてその複数事業所を、文中  
にあった別会社のケアクオリティ静岡に営業譲渡させ「株  
式会社ケアクオリティ」と改称、その代表取締役として専念すべく再始動し  
ました。事業規模は前任時代の1/3程度になりましたが、今度は高橋が筆頭  
株主のオーナー会社であって、一層の価値と責任が上乗せされました。次の  
シナリオに向け堅実にやっていきます。また、昨秋、公益社団法人日本認知  
症グループホーム協会の常務理事、並びに静岡県支部長となり事業者団  
体の活動も始めました。さらにジャズ演奏活動は拍車がかかり、ネットで「高  
橋義孝 ジャズ」と検索すると、いろいろヒットしますよ。



### ルポルタージュ

スクールソーシャルワーカー  
駒崎道  
(専門大学院四期)

**プロフィール**  
1967年 東京生まれ。東京女子大学文学部史学専攻卒業後、出版社勤務  
を経てフリーランスとして児童書の編集、また取材執筆、子どものワークショップ  
などの企画運営に携わる。2007年日本社会事業大学専門職大学院に入学し、  
社会福祉士を取得。2008年10月から東京・留米市教育委員会にスクールソ  
シアルワーカーとして勤務。2009年4月から日本社会事業大学大学院社会福  
祉学専攻博士前期課程に入学。



### ルポルタージュ

利用者の自立支援を目指して  
松田晴恵  
旧姓：石川(学部三三期)

**プロフィール**  
1958年生まれ  
1977年埼玉県立朝霞高校卒業  
1982年社会福祉法人上村誠生会特別養護老人ホーム「鶴生園」入職  
1990年国際学園「横浜国際福祉専門学校」入職  
1995年社会福祉法人福寿会特別養護老人ホーム「村岡ホーム」入職  
2002年有限会社SFI創設  
2006年有限会社湘南ビュー入職  
2009年  
医療法人社団オーエフシー小規模多機能施設「ファミリーケア家」入職

**Yasuko Ohkoshi**

さわやかで親しみやすく、をモットーに  
スタンダードジャズ、ポピュラー、ポップスを歌っています。  
どうぞよろしくお願ひします。

**プロフィール**  
秋田県出身、大学在学中から演劇に興味を持ち、  
劇団青年座で約4年間の舞台女優生活を送る。  
その後、ジャズボーカルの活動、劇内のジャズク  
ラブで歌いはじめる。  
1994年、津田敦吉ニュークインゼット男爵  
ボーカルオーディションに合格。以降、西ノノド  
とともにコンサート、ライブを行う。  
現在はソロボーカリストとして、都内、横浜を中  
心にライブハウス、ホテルラウンジ、パーティ  
ーイベントなどで活躍中。  
血液型：A型 趣味：お茶、お散歩

— CD好評発売中 — ライブで歌っています —

Newお聴かせです。 季節の贈り物

4枚CD (IN CINEMA) ¥1,200 2枚CD (Ago De Meter) ¥1,800

2008年10月 4枚CD (IN CINEMA) セリノース、大好評発売中。  
※ 贈答式、各種パーティー、イベントetc.への贈り物の贈り先は、下記  
ご予約、お問い合せは、☎ 03-3410-0892  
E-Mail yasuko@jazz@bh.wakwak.com  
大越康子オフィシャルホームページ http://p0411.wakwak.com/~yasuko/

### ルポルタージュ

ボーカル  
大越康子  
(学部二七期)



**メッセージ**  
福祉とは違う分野ですが、皆様に楽しく、くつろいでいただ  
けるように、ジャズやポップスを歌っています。ぜひライブ、  
ホームページに遊びにいらしてくださいませ。

**プロフィール**  
1993年、岡山県倉敷市に生ま  
れる。  
専攻大学経済学専攻卒業後、  
1998年に日本経済株式会社(現  
JFEスチール)に入社。2002年  
管理と事業計画の業務に携わり、  
1998年日本社会事業大学に  
入学し、社会福祉士を取得する。  
1999年に留米ホーム運営  
専門科で社会福祉士と専攻別に  
携わり、社会福祉の立ち上げに  
参加する。  
2001年7月、有限会社レン  
ドールを設立し、独立開  
業する。大手企業の前向きな支  
援を受け、グライティング・プランナー  
の資格あり。

### ルポルタージュ

介護事業  
岡崎勝  
(研究科五三期)

**メッセージ**  
有限会社 アンダー・スタンド 代表取締役 岡崎 勝  
アンダー・スタンドという社名は、「素直な心と感謝の気持  
ち(下に立つ)」を忘れず、「クライアントの価値創造を高  
めるサポート(下で支える)」という意味をこめております。  
<http://www.under-stand.co.jp>



**プロフィール**  
1968年 群馬県前橋市(現市前橋  
西)で生まれる。  
1976年 社大入学。2年間電機キ  
ャム。卒業後「あったっぴ?」  
横浜朝日(学部1期)土曜 市原  
日イキルニスタラブ(後田元起  
さん)学部15期)により就職。入  
会費高額が向日に来ると、会員募集  
に。  
専務役員(246-43452) 担当  
1981年、専務の初めは専務「東  
洋学園」勤務。小野志穂(後1年)  
の勧めで同窓会の集まりに出るよ  
うになる。  
1992年、同窓会社あんしん介護  
ホーム設立。専務(専務)に  
専務役員(専務)専務支援事業所と  
なり専務に就く。

### ルポルタージュ

介護サービス業  
吉田政之  
旧姓：豊田  
(学部二十期)

**メッセージ**  
今年は異常に暑い日が多い。仕事場にクーラーが無く、  
利用者宅をめぐり、涼もうとしました。残念ながら多くの  
お宅にもクーラーがありませんでした。暑さにめげない  
老パワーに脱帽。



ルポルターージュ

仕事大卒業のおかげです

三浦 博幸(学部十五期)



居住や就学支援施設の運営をされているそつですが？

生活保護者と障がい者の方の地域生活支援を行っている法人の理事、統括施設長をしています。

三部門制をとり①生活訓練生活保護部門②セブ・生活介護部門③相談・地域生活支援部門です。

①は生活保護の宿所提供施設でのホームレスや刑余者だけでなく障がい者福祉から漏れた障がい者等の最後の砦的な受入れをし、再生のチャンスを提供しています。次に生活保護と親和性の高い精神障がい者支援寮があります。

また、この援護寮との合築で知的障がい者通勤寮があります。他に精神障がい者との知的障がい者のグループホーム・ケアホームが市内六箇所(定員三十名)あります。

②は「居住は宿所提供施設で作業は授産所」と役割分担してきた生活保護授産所。愛知県のホームレス対策

でローカルルールとした法人所在外の市からもホームレスの方の受入れをしています。③は平成十一年に精神障がい者援護寮の附設から始まった地域生活支援センターの相談・地域活動支援センター事業から継続している機能を、自立支援法により三障がいに拡大しました。

事業展開にどんな思いがありますか？

築地市場のアルバイトで週給による生活を楽しんでいた五年時、伊藤学生課長に頼まれ付き添いで受験し、オイルショックで多額の差額を貰う公務員も悪くはないと思つて入った市川市福祉事務所の生活保護ケースワーカー体験が役立っています。六年半の福祉事務所経験を経て地元の実職場に就職した処、宿提は定員の半分の利用者数、授産所は八時から十七時まで就労で、おまけに送迎サービスは朝六時で夕方終了は十九時と驚きの世界でした。その中で宿提の利用率向上の



プロフィール  
1952年愛知県額田町生まれ/県立岡崎北高校卒業/市川市福祉事務所ケースワーカーを経て、社会福祉法人 愛恵協会入職 理事 統括施設長 /社会福祉士 精神保健福祉士 Eメール h-miura@aikai-k.or.jp

杯(ソフトボール大会)多大な影響を受け、現在も継続中です。野球部でのデビュー戦は二対二五(五回コールド負け)でしたが、四年生時伊東理昭君三年生

行動が印象に残っています。入院中の精神障がい者への退院宣伝(市外の患者も含む)で福祉事務所からのクレーム。宿提利用が困難と思われる利用者への県監査時の注意。そんな中で、利用できるものは何でも利用し、精神関係機関連絡会議(生保ワーカーを初め多くの機関の心ある人の集まり)に助けられた思いで。法人の事業は成人期対象に特化して

学生時代はどんな思い出がありますか？

七十年安保の年で、大学が閉鎖中でした。叔父のパン屋でバイトしながら学校からの呼び出しを心待ちしていた処、呼び出し(実際は中止)に集まった五名程度の中に個性が強劣な石坂慎二さん(劇団ピポポ創設者)がおり、学生会館の部屋を自由に使う目的で美術部に所属。ひたすら宴会をしていました。若いころの飯田・横山・大橋・関家の諸先生方もよく参加して頂きました。ある時、第二松窓寮というのは面白くて安上がりというので叔父に「修行に行つてきます。」と入寮。朝二階で洗顔をしてると春歌を唄いながら裏戸から現れたのが浜田学さん(四金会会長、大学在籍九年?)でした。浜田さんからはその後野球部、四金会、ピポポ応援団、五味百合子

の活躍とチームワークで優勝。キヤブアンだった三年時の主催校友会長として仲村優二先生のあいさつが嬉しいです。学問に対しては、卒業論文時杉森創吉先生のお宅に宿泊(但し昼間の築地市場のバイトだけは許可)で完成させられたことです。今では考えられない厚待遇を得ながら福祉の世界でそれに見合った働きをしていないことが自分の福祉への原動力となつているのかもしれない。自分が元々東京へ行ったかつたのは、長男だからいざれば田舎で農業もやらなければならぬ。それなら若い時に東京での社会勉強をさせてもらつてもいいだろう、との思いです。しかし仕事は福祉の仕事を考えていたのも事実です。思えば木田徹郎先生を初めそうそうたる先生方に直接学ぶ機会を自覚できなかった自分に気付いたのは、就職した後でした。更にはその感が強くなったのは現法人に就職して以降です。生活の中で折に触れ多くの社大関係者を思い浮かべますが、多くは迷惑を掛けたいと思つてお詫びしますと言つて済むことではないですが、その分福祉の仕事に精一杯やらせて頂きます。

今後の抱負をお願いします。

身近な岡崎市、幸田町の地域福祉の為に自分の力量に合った貢献をしたいと思つています。具体的には、愛恵協会の理事として職員がプライドを持ち安心して働き続けられる職場づくり。岡崎市社会福祉協議会の理事としては地域福祉ネットワークの強化。精神科病院の理事としては地域医療の促進により保健、医療、福祉の連携強化です。

愛知原宿会は毎回少人数の参加者ですが宮川正明会長、神田幸信・理美事務局の頑張りにより継続しています。その集まりに参加し懇談するのは本当に嬉しいことです。



新敏行事。右は石坂氏(1972年4月)。聖火ランナーは仲村優二先生。